

## 平成30年度 全国学力・学習状況調査 ～金沢小学校の結果～

平成30年4月17日に6年生を対象に実施された全国学力・学習状況調査の本校の調査結果概要をお知らせします。

### 教科別学習状況調査（全国の正答率と比較して結果に特徴のある問題）

- 【国語A（知識）】
- 全国平均正答率を上回った問題
    - ・自分の想像したことを物語に表現するために、文章全体の構成の効果を考える
  - 全国平均正答率を下回った問題
    - ・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う
    - ・日常生活で使われている慣用句の意味を理解し、使う
- 【国語B（活用）】
- 全国平均正答率を上回った問題
    - ・目的に応じて、複数の本や文章などを選んで読む
  - 全国平均正答率を下回った問題
    - ・話合いの参加者として、質問の意図を捉える
    - ・目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらか読む
- 【算数A（知識）】
- 全国平均正答率を下回った問題
    - ・直径の長さとお周の長さの関係について理解している
    - ・小数の除法の意味について理解している
- 【算数B（活用）】
- 全国平均正答率を下回った問題
    - ・示された考えを解釈し、条件を変更して考察した数量の関係を、表現方法を適用して記述できる
- 【理科】
- 全国平均正答率を上回った問題
    - ・ろ過の適切な操作方法を身に付けている
  - 土地の侵食について、予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して実験を構想できる

### 生活習慣・学習習慣 質問紙調査結果（全国の割合と比較して特徴のある設問）

- 【生活について】
- 「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」という設問について、「している」と答えた児童の割合は、全国よりも高い。
  - 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」という設問について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答えた児童の割合は、全国よりも高い。
  - 「将来の夢や目標を持っていますか」という設問について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答えた児童の割合は、全国よりも低い。
- 【学習について】
- 「理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」という設問について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答えた児童の割合は、全国よりも高い。
  - 「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）」という設問について、「2時間以上」「1時間以上、2時間より少ない」「30分以上、1時間より少ない」「10分以上、30分より少ない」と答えた児童の割合は、全国よりも低い。

#### 授業改善に向けて

- ・語彙力が乏しいこと、学習した漢字が活用できないことが課題です。スキルタイムなどで漢字の定着を図るとともに、様々な文章や表現にふれ、語彙を増やせるようにします。
- ・読み聞かせ、学校司書による支援等を有効に活用し、授業の中で読書を広げる取組を継続し、読書への関心を高めるように働きかけていきます。
- ・「自分の考えを明確にしながら読む力」を身に付ける前に、自分の考えをしっかりともつ必要があります。自分の考えを表現することが苦手な児童も多いので、文章や言葉で、自分の考えを表現する機会を増やしていきます。
- ・計算方法は知っているが、なぜそうなるのかというところまで理解できている児童は少ないようです。やり方を学ぶだけでなく、その過程を大切にし、理解を深めていきます。

#### 児童支援の充実に向けて

- ・日々の生活や学習に加え、児童保健委員会の活動においても、友達相互のよさを認め合う場を意図的に設けるようにしていきます。各クラスにおいて、学年における取組を通して、自己肯定感を高められるようにしていきます。
- ・自分の思いを素直に表現することが苦手な児童が多くいます。自分の思いを表現することの大切さを伝えるとともに、安心して表現できる環境づくりをしていきます。
- ・将来の自分について、夢や目標をもって考える機会を意図的に設けていきたいと思えます。自分の力を生かして自信をもってチャレンジできるように、一人一人の思いをとらえて励ましていきます。